

◆実施に伴う効果

- ・福山大学の環境サークルの人達が参加してくれ、色々と話す中でこれからも出来ることは一緒に是非やりたいと申し出があった。
- ・地元町内会の会長や環境推進委員数名の参加があった。
- ・地元女性会の方が活動を見に来られた。
- ・清掃活動中に漁協の人達と偶然出会い、私達の活動を伝えられたことは大きなプラスになったと思う。

◆苦勞した点

予算面では苦勞しておりましたが、貴財団の助成のお陰で活動の輪を広げる事が出来、大変感謝しております。

PRの面に関しては、新聞記事や口コミが主体となっています。

参加者につきましては、いつも頭の痛い問題ですが、イベントの場合、ワンパターンにならないよう気をつけています。

天候、潮の干満などに左右されることが多々あります。

地域の理解の方は少しずつですが進んでいるように感じております。

◆今後の課題・発展の方向性

私達が目標としている「あさりの棲める干潟をめざして」のキャッチフレーズ、是非実現したい。

かつて誰もがこの松永湾から自然の恵みを頂いていた。今、身近に感じられなくなった海、、実は私達が汚し、近寄れなくしてきました。

漁業者の海、貯木業者の海、〇〇〇〇の海、、、ではなく、“私達の海”なのです。多くの人がこの“私達の海”を自覚することが今後の課題だと思っています。

“かけがえのない松永湾をゴミ捨て場にしてはいけない”この言葉を肝に銘じ！！私達の活動をもっともっと知ってもらいたい。賛同者、参加者を増やし、年に一度、環境フォーラムのようなものを行ないたいと考えております。

◆活動を終えての感想・意見等

子ども達からメッセージに助けられ、色々な生き物に教えられ、まだまだ長く続けていくしかないと思っております。

一緒に活動している高校生が学生代表の一員として、国連本部に行った事は大きな喜びで今後の励みになります。

貴財団からの助成、誠にありがとうございました。